

感動野球



11月号 (Vol.12)

(2021年11月発行)

作成:硬式野球部 MG

こんにちは。関西大倉高校硬式野球部 MG です。

今月は「Liga Agresiva(リーガアグレシーバ)2021」決勝トーナメントの結果報告とオフシーズンの予定について告知いたします。また、今回の Liga Agresiva2021 について選手のコメントも併せて掲載いたします。

〈Liga Agresiva2021 決勝トーナメント〉

準決勝 11月14日(日) 対 みどり清朋 2-4○

決勝 11月21日(日) 対 立命館宇治 0-6●

→大会結果:準優勝(5年目で初)

「Liga Agresiva2021」は悔しい準優勝となりましたが、

この悔しさを力に変えて今日からの練習を頑張りましょう!

オフシーズン <今後の予定>

・12月1日(水)～ 硬式野球部 SDGs「WORLD GIFT PROJECT」開始

12月13日(月)A戦(1年 vs 2年)@久宝寺

12月18日(土)B戦(1年 vs 2年)@第2G

12月27日(月)紅白戦第1戦@久宝寺

12月28日(火)地域清掃@JR 茨木方面

1月6日(木)紅白戦第2戦@寝屋川

1月30日(日)紅白戦第3戦@未定

※12月から3月の間に紅白戦を5試合予定しています。



Liga Agresiva 決勝戦の様子

こんにちは。関西大倉高校硬式野球部の●●●です。今年の Liga は初戦を落としたもののそのあと巻き返し、予選リーグを2位で通過し、決勝トーナメント進出を決めました。そして、その勢いのまま準決勝を勝ち抜き、関西大倉初の決勝進出。しかし、決勝戦では立命館宇治高校に完封負けと悔しい準優勝に終わりました。チームで決めた「強豪私立を倒す」という目標にはまだ程遠い結果となりましたが、この Liga を通じて見つかった課題をこれからの冬の期間でなくして、春・夏の大会で最高の結果を残せるようにチーム一丸となって頑張っていきたいと思えます。これからも応援よろしくお願いします。

こんにちは。関西大倉高校硬式野球部の●●●です。今年の Liga は関西大倉初の準優勝という結果を残すことができました。また、2チームに分けて交互に試合に挑んだことで普段なかなか出場機会のない選手もアピールするチャンスとなりました。Ligaは低反発バットの使用や選手の投球制限(球種制限)など様々な制限があります。このような普段とは違う環境の中で出てきた課題を冬の間に克服して、春・夏の大会に向けて頑張っていきたいと思えます。これからも応援よろしくお願いします。

「Liga Agresiva 2021」準優勝おめでとうございます!決勝戦は課題の残る試合だったと思いますが、参加した13校の中で2番目に強いことが証明されました。しかし、過剰に喜び過ぎたり練習を怠慢に行ったりするのは違います。進学校の我々が「強豪校」を倒すためには、「少ない時間を有効活用する気持ち」が必要です。決められた練習時間内の時間を効率的に使うことはもちろんですが、土曜日や休日の練習前にある時間をどれだけ効率よくできるのかも重要です。「強豪校」と差のある今の状況を詰めていくためには、短時間で習得できるように考えて行動することと「スキマ時間」をどれだけ効率よく使い自分の成長を高めて行くからです。「何も考えていない」「言われたとおりにしかできない」の姿勢ではいつまで経っても「強豪校」に追いつくことはできません。「賢い頭」で「効率よく」時間を使える関倉生になりましょう。(松井先生より)

Liga では準優勝の成績を残し、チーム力に一定の成果が得られた一方で大変悔しい思いをしました。言うなれば、「課題を残した実りの秋」となりました。今後の12～2月は冬練の期間になります。トレーニングの度に、「あと10回、あと5回で終わり」と残りの回数を数えるのではなく、「もう5回、もう10回増やす」と自分に厳しい姿勢で取り組んでください。日々の積み重ねで「実りの冬」を掴み取りましょう!!そして、「オールシーズンでそれぞれの実りを目指せ!!」(細谷コーチより)

対外試合禁止期間(オフシーズン)に入ります。この時期こそ、個人の課題を克服するためにとっても良い期間です。現状、1試合を戦う体力、連戦を戦うための回復力、打球を飛ばすための筋力、強い球を投げるための肩の強さ、球際を取れるようになるための精神力全てがまだまだ未熟です。この冬を有効に使えるように意識してください。(戸川コーチより)